授業科目	保育・教職実践演習(幼稚園)					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期
担当教員	篠木　賢一、末嵜　雅美、阿南　寿美子、池田　佐輪子、櫻井　裕介						
授業概要	教職・保育職の意義や役割、教育・保育に対する使命感や責任感、教育的愛情等について理解を深めると同時に、保育現場で役立つ実践力を培うために、講義や演習を組み合わせて授業を行う。具体的には、保育者として求められる社会性や対人関係能力について理解を深め、その能力を高めるためにロールプレイング等を行う。また、作成した指導案をもとに行う模擬保育やグループ討議、各種の事例や記録等を通して、子ども理解力やクラス経営力、保育内容の指導力を高める。さらに、幼児教育や保育における現代的課題を踏まえた上で、保育者として必要な知識・技能・資質を確認する。						
授業形態	演習			授業方法	模擬保育やグループワーク、ディスカッションをおこなう。		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1. 保育者としての使命感を持ち、子どもから学び、共に成長しようとする姿勢を身につける。 2. 同僚保育者や保護者、地域の専門機関との関係を築きながら、保育実践に取り組むことができる態度を養う。 3. 子ども理解のための観察や記録に基づき、子どもの発達や心身の状況に応じた保育をする力を身につける。 4. 保育に関する現代的課題について、現状分析・考察・検討ができる。 5. 保育現場での問題解決のための対応・判断力を身につける。 6. 保育者として必要な知識・技能が修得できたかどうか自己確認し、自己課題を明確にできる。 保育職の意義や役割を理解し、他者と協働する態度や姿勢を持つことができる。子ども理解のための視点を持つことができる。
理想的レベル	標準的なレベルに加え、子どもの発達や心身の状況に応じた保育のために必要な子ども観、保育観を持ち、保育の計画を考えることができる。また、自らの考えを持つと同時に他者の意見を受け入れ、より良い保育についての意識や態度・姿勢を持つことができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	20%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	30%	模擬保育
レポート外の提出物	30%	指導案や各種提出物
その他	20%	授業貢献度、グループワークでのリーダーシップや模擬保育中の発言なども評価対象となる。

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	-	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	CH31403J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）

2 年前期までの「履修カルテ」の内容を確認しておく。また、模擬保育で行う題材を考え、指導案を作成する。	4

授業計画	
第 1 回	テーマ：オリエンテーション／指導案作成と模擬保育① 授業概要を理解する。また、部分保育を振り返り、模擬保育の方法について理解する。
第 2 回	テーマ：指導案作成と模擬保育② 指導案指導と作成やクラス便りなどの在り方を理解する。
第 3 回	テーマ：保育内容の指導力① 対象に応じた保育の展開の方法について模擬保育を通して理解する。
第 4 回	テーマ：保育内容の指導力② 対象に応じた保育の展開の方法について模擬保育を通して理解する。
第 5 回	テーマ：保育内容の指導力③ 対象に応じた保育の展開の方法について模擬保育を通して理解する。
第 6 回	テーマ：保育内容の指導力④ 対象に応じた保育の展開の方法について模擬保育を通して理解する。
第 7 回	テーマ：保育内容の指導力⑤ 対象に応じた保育の展開の方法について模擬保育を通して理解する。
第 8 回	テーマ：保育内容の指導力⑥ 対象に応じた保育の展開の方法について模擬保育を通して理解する。
第 9 回	テーマ：ICT を用いたドキュメンテーションの作成① エピソードの振り返りと写真を用いた方法をを通して子どもの育ちを保護者へ伝える方法を学ぶ。
第 10 回	テーマ：ICT を用いたドキュメンテーションの作成② エピソードの振り返りと写真を用いた方法をを通して子どもの育ちを保護者へ伝える方法を学ぶ。
第 11 回	テーマ：ICT を用いたドキュメンテーションの作成③ 作成したドキュメンテーションの発表を行う。
第 12 回	テーマ：実践事例の検討 「お当番」を考える
第 13 回	テーマ：保育者となるために 個人記録と指導要録の実際

第 14 回	テーマ：保育職の意義と役割－新任保育者の職業意識を考える シンポジウム「先輩保育者に学ぶ」
第 15 回	テーマ：保育者の資質とは（まとめ） 履修カルテを用いて２年間の学修を振り返る 保育職の心構え
テキスト	なし 適宜資料を配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	なし 適宜、資料の配布、紹介をする。
課題に対するフィードバックの方法	授業終了後に各自の課題について解説をおこなう。
学生へのメッセージ・コメント	履修した科目や実習での体験を振り返っておくこと。 保育科内の教員や卒業生をも含む地域の現職保育者・現場経験者が連携し、保育職・教職としての実践力を高めるための授業を行います。 受講者は授業内容に応じて、グループに分かれて指導を受けますので、授業内容の順序が一部入れ替わります。 また、各自またはグループ毎に授業のために準備をする必要があります。 授業内では意欲的に参加するよう、また積極的に発言するよう心がけてください。